

「1分間スピーチの原稿を書こう」



愛徳学園小学校：柳生里子、5年生

1.実践の目的

朝礼時に児童が順番に1分間スピーチを発表する時間を設けている。発表の内容は宿題で書いてきた日記を発表することが多かったが、身の回りの出来事だけでなく、気になるニュースについても興味を持ち、自分の感想や考えをもとに、自分の意見を明確に伝えられるスピーチ原稿を書く力を育みたいと考えた。そこで、短く要点をまとめつつ、文字とイラストを組み合わせる「はがき新聞」に取り組んだ。

2.方法

ニュースに興味を持たせるため、子ども新聞の内容を要約し、1分間スピーチの原稿をまとめることにした。



図1 使用した子ども新聞

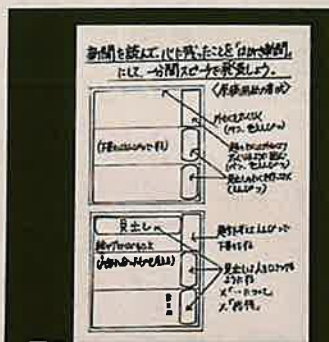
図2
書き方を説明したプリント3.実践① 初めて書いた
「1分間スピーチのはがき新聞」

図3 初めて書いた「はがき新聞」

実際に書いてみると、自分が書きやすい記事を選択しているが、見出しを書くことや少ない文字数でまとめることが難しく、何度も書き直していた。

4.実践②（学年文集の活用）

1年間の思い出ベスト3を各自がランキングにしてまとめた。また、私の好きな百人一首の句を紹介。



図4 文集にしたはがき新聞

5.実践③（国語の学習で活用）

5年生の国語で学習した、「銀の裏地」の感想をはがき新聞にまとめた。見出しや用紙の使い方にも工夫がみられ、わかりやすく書くことだけでなく、それぞれが感じたことを文章と絵を用いて表現している。

図5
国語の学習で活用

6.まとめ



図5 現在のはがき新聞

4年生から始まった「はがき新聞で1分間スピーチ」の取り組みは、5年生でも継続している。児童たちは新聞記事を読み、要点をまとめて発表する経験を積み重ねる中で、時事問題への関心や調べる力、表現する力が伸びてきた。個人差はあるものの、自ら考えて伝える力が育っている。今後は地方紙や全国紙も活用し、より深く幅広い視点から情報をとらえられるよう支援していきたい。